

**製品名:** マスト細胞トリプターゼ (7Q2) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe13658

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.48mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG (リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有)。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,IF-P 1:200-1:1000
分子量	31kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TPSAB1
別名	TPS1; TPS2; TPSAB1; TPSB1; MCP 7 ; Mast cell protease 7; Tryptase alpha 1;
遺伝子 ID	7177.0
SwissProt ID	Q15661
免疫原	ヒトマスト細胞トリプターゼの合成ペプチド

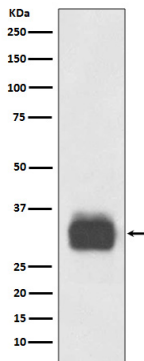
**背景**

トリプターゼは、トリプシン様セリンプロテアーゼファミリーであるペプチダーゼファミリー S1 を構成します。トリプターゼはヘパリン安定化テトラマーとしてのみ酵素活性を示し、既知のすべての内因性プロテアーゼ阻害剤に耐性を示します。複数のトリプターゼ遺伝子が染色体 16p13.3 にクラスター化しています。これらの遺伝子は、いくつかの異なる特性によって特徴付けられます。トリプターゼはマスト細胞に存在する主要な中性プロテアーゼであり、この細胞型の活性化-脱顆粒反応の連鎖反応時に分泌されます。自然免疫において役割を果たしている可能性があります。アイソフォーム 2 は、アイソフォーム 1 よりもフィブロネクチンなどの大きな基質をより効率的に切断しますが、小さな基質に対しては効率が低いようです (PubMed:18854315)。

## 研究分野

-

## 画像データ



ヒト扁桃腺溶解液中のマスト細胞トリプターゼ発現のウェスタンブロット分析。